

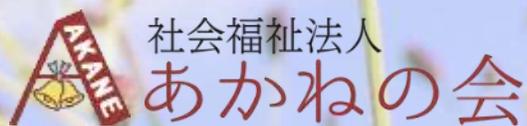
練馬区教育委員会委託 子育て学習講座



障がい者を納税者に  
～自分らしく生きるために～

# 人として生きていくために何が必要か？ ～「ことば」の発達を促すには～

令和5年9月25日 ココネリ3階研修室I



支援アドバイザー 吉田 由紀子  
臨床発達心理士・特別支援教育士

# 人として生きていくために、何が必要か？

---

いつ？

令和の時代

どこで

日本の大都会である東京で

どうやって

人として生きていく



# 衣食住の充足

---

- 衣

今の時代、この東京で生きていくためには、絶対、洋服を着なければならない。

- 食

1日3食食べる

一食でも抜いて生きていけるか？

- 住

住む家は絶対必要

家がなければ浮浪者にならざる得ない



# 衣食住を支えるための収入

---

働くことで収入を得る必要がある  
働くためには、どんな力が必要か？

今の日本では  
障害者雇用率2.3% ➡ 3年後に2.7%



# 目と手の協応動作

---

仕事は、目と手を使うことが「殆ど」

パソコン



掃除



洗浄



# 指示を聞く力

---

仕事の指示を聞いて、その通りに行動する力 → 言語理解力

言語指示の意味がわかり、その通りの行動をとれる力をつける



# 自分の思いを伝える力

---

トイレに行きたい  
指示された仕事が終わった  
次、何をするか聞きたい



→ 言語表現力



# 言語表現力をどう育てるか？

---

体験を通して言葉を育てる

知的障がいがあると、脳に定着するのに3,000回の経験が必要とされている。

繰り返し、体験に言葉を添えて教えていく。



# どんな語彙を増やすか？

---

名詞 物の名前（湯のみ、小鉢、大皿、中皿、小皿など）

動作語 洗う、ゆすぐ、乾かす、拭く、

比較語 大きい小さい、温かい冷たい、固い柔らかい  
長い短い、太い細い、広い狭い



# 相手に伝わるコミュニケーション

---

いつ

どこで

だれが

何をした



# 障がい特性に合わせた工夫を

---

言葉の指示が入りやすいタイプ

言葉より書いた物の方が理解しやすいタイプ

図で描いた物の方が理解しやすいタイプ

特性に合わせた支援の工夫をする



**ご清聴ありがとうございました。**

あかねの会では知的障がいがあっても、社会の中で当たり前働き、生活できていけるように願っています。